

科目名	観光研究ゼミナール	科目コード	1234	単位数	2
担当者名	佐藤 博樹	開講セメスター	第5セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	演習	到達目標	F,H	実務経験	無
ナンバリング	LSe502	DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

●授業のねらい

本ゼミでは、観光事業をテーマとしたテキストに基づきPowerPoint 2019でプレゼン資料を作成し、発表とディスカッションを通して各観光事業の基礎知識を修得します。併せて、社会で活躍するビジネスパーソンに必ず求められる情報活用力を「Excelを活用したビジネスデータ分析力」とみなし、実践的な仮想データの処理を通してそれら能力の獲得を目指します。以上から、PowerPoint 2019を活用したプレゼン力、観光事業の基礎知識と各観光事業の現場で応用できるビジネスデータ分析の実践的手法を同時に効率よく身につけ、ビジネスの現場で直面する経営課題を発見し解決していく能力を養成します。

●到達目標

さまざまな観光事業を研究して、その仕組みや発展要因を理解する。
 PowerPoint 2019を使用したプレゼン力（資料作成力&発表力）を身につけ、狙い通りの効果的なプレゼンテーションが自在にできるようになる。
 ビジネスデータ分析手法ごとの目的、データ処理手順、結果読み方等をExcel 2019の操作テクニックと併せてマスターすることで、ビジネスデータに含まれる情報を目的に応じて自在に取り出し、活かせるようになる。
 ~ の学修過程で、学内無線LAN(WiFi)のアクセスポイントを経由してオンライン上の最新の観光ビジネスデータや情報サービスに数多くアクセスし、効率的にICT（情報通信技術）を活用できるようになる。

●授業内容

- 1週目 ガイダンス（ゼミの運営方法、学内無線LAN（WiFi）のアクセスポイントを経由して教材やオンライン上の情報にアクセスする方法、その際のセキュリティとプライバシーに関する注意事項）、ビジネスデータ分析の定義と活用のポイント、データ分析の流れと進め方、データ分析の3原則等
- 2週目 顧客名簿から登録会員の年齢層の傾向をつかむ（ヒストグラムを理解し活用する）
- 3週目 売上の上位を占める顧客を発見・分析する（デシル分析を理解し活用する）
- 4週目 独自のランク付けで優良顧客を選別しサービスアップする！（FSP分析：Frequent Shoppers Program分析を理解し活用する）
- 5週目 顧客の消費性向を分析し、今後の営業戦略を練る！（RFM分析:Recency Frequency Monetary分析を理解し活用する）
- 6週目 満足度評価のアンケート結果を価値のあるデータに変換する！（平均値、標準偏差を理解し活用する）
- 7週目 なぜ企業は経営分析をするのか！（財務3表を理解する）、貸借対照表は資金の流れを見る決算書！（貸借対照表のしくみを理解する）
- 8週目 損益計算書は企業の利益や収益性を見る決算書、利益には5種類のバリエーションがある！（損益計算書のしくみを理解する）
- 9週目 キャッシュフロー計算書でキャッシュの流れをみる！（キャッシュフロー計算書のしくみを理解する）
- 10週目 企業の財務の推移を表現する！（比較損益計算書を作成する）
- 企業の基本的な実力を評価する！（売上高と利益の成長率を検討する）
- 11週目 企業の収益性を評価する！（売上高経常利益率で評価する）
- 資本と利益の関係から儲かっているかを検討する（ROAとROEで収益性を評価する）
- 12週目 本当に儲けが出ているかを判断する！（キャッシュフローで企業の資金力をみる）
- 13週目 テキストに基づくプレゼンテーション1（第1章～第5章）+ディスカッション
- 14週目 テキストに基づくプレゼンテーション2（第6章～第10章）+ディスカッション
- 15週目 テキストに基づくプレゼンテーション3（第11回～第15回）+ディスカッション
- 16週目 実施したプレゼンテーションに関する総合的な講評、要点確認等を行う。ただし、やむを得ず15週目までの授業内容を実施できなかった場合は、補講授業を行う。

●準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- ・予習と復習は、基本的にテキストと学内無線LAN(Wi-Fi)を通して配付される講義資料を熟読し、併せてLMSで配信されるオンデマンド動画教材を視聴して理解を深めること。
- ・予習：毎回の授業で指示された箇所を予め熟読し、LMSで配信されるオンデマンド動画教材を視聴しておくこと。(90分程度)
- ・復習：LMSで配信されるオンデマンド動画教材を再度視聴し直すこと。
- ・予習・復習等においては、講義資料や学内無線LAN(Wi-Fi)を用いてオンライン上から入手した最新の観光ビジネスデータや情報サービスを活用して課題に取り組む。

●成績評価の方法・基準

- ・成績は、学習姿勢、データ処理の実践能力、プレゼンテーションやディスカッションへの参加結果、オンデマンド動画教材の視聴状況等で総合的に評価します。
- ・成績評価に際しては、授業態度も判定要因とすることがあります。

●履修上の留意点

- ・講義は原則として対面で実施し、オンデマンド動画教材も同時に配信します。
- ・授業中も随時指導しますが、基本的に毎回パソコンを使用するのでコンピュータ・リテラシーの内容をしっかりと理解しておくこと（特にExcel 2019の表計算、グラフ機能、データベース機能を使用）。
- ・講義の受講時におけるマナー・注意事項について注意を受け、改善の兆しがない者は不合格となることがあります。

●課題に対するフィードバックの方法

- ・個々のプレゼンテーションに関する講評は、原則として毎回ディスカッション後に行います。

●テキスト

- ・高橋一夫他『1からの観光事業論』（碩学社）2,400円
- ・自作の資料プリントも随時配付します。

●参考書

- ・高橋一夫他『1からの観光』（碩学舎）2,400円

- ・羽田耕治『地域振興と観光ビジネス』（JTB能力開発）2,500円
- ・加藤弘治『観光ビジネス未来白書 2020年版』（同友館）2,500円

●更新日付

2024/01/28 02:04